

## 神奈川県立保健福祉大学第二期中期計画（案）における修正箇所について

令和5年11月13日 第4回評価委員会後の修正箇所は次のとおり

第二期中期計画（案）	第二期中期計画（素案）	修正理由
<p>公立大学法人神奈川県立保健福祉大学第二期中期計画 【案】</p> <p>～（中略）～</p> <p>第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(1) 人材の育成に関する取組み</p> <p>【1】専門力と総合力を備えた保健・医療・福祉人材の育成（学部）</p> <p>～（中略）～</p> <div data-bbox="172 667 1210 1092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>1- (1) <u>卒業時の学生満足度調査で、大学教育を通じてDPに定める資質・能力を身に着けることができたとの評価</u> 80%</p> <p>1- (2) <u>日本看護学教育評価機構（JABNE）による看護学教育プログラム評価を受審し適合</u> <u>一般社団法人リハビリテーション教育評価機構（JCORE）の認証評価を受審し、最高ランクのS評価に適合</u> <u>世界作業療法士連盟（WFOT）の認定校の審査を受審し認定</u></p> <p>1- (3) 就職希望者就職率(学部) 100%</p> <p>1- (4) 国家試験合格率 看護師 100%、保健師 100%、 管理栄養士 100%、社会福祉士 75%、精神保健福祉士 100%、 理学療法士 100%、作業療法士 100%</p> </div> <p>【2】保健・医療・福祉分野における質の高い専門人材の育成（保健福祉学研究科）</p> <p>～（中略）～</p> <p>さらに、より高度で質の高いリーダーとなる人材を養成するため、<u>公衆衛生看護（保健師）実践コース（仮称）及び慢性疾患看護専門看護師（CNS）コース（仮称）の設置に向けた検討、養護教諭・栄養教諭の専修免許取得のための改正したカリキュラムを運用するとともに、子ども家庭福祉など社会的要請の高い人材の育成について学部教育と連動させた検討を行う。</u></p> <p>～（中略）～</p> <div data-bbox="172 1417 1210 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>2- (1) <u>公衆衛生看護（保健師）実践コース（仮称）の設置に向けた検討</u> <u>慢性疾患看護専門看護師（CNS）コース（仮称）を令和8年度開講に向けて検討</u> <u>養護教諭・栄養教諭の専修免許取得カリキュラムを、令和6年度に認可申請し、令和7年度より運用</u></p> <p>2- (2) <u>国家試験合格率 助産師 100%</u></p> <p>2- (3) 大学院修了時調査でリーダー資質が向上したとの評価 80%</p> <p>2- (4) 子ども家庭福祉に係る人材育成の検討</p> </div>	<p>公立大学法人神奈川県立保健福祉大学第二期中期計画 【素案】</p> <p>～（中略）～</p> <p>第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(1) 人材の育成に関する取組み</p> <p>【1】専門力と総合力を備えた保健・医療・福祉人材の育成（学部）</p> <p>～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 667 2318 1092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>1- (1) <u>学生満足度調査でカリキュラムが良好との評価</u> 80%</p> <p>1- (2) <u>第三者教育評価の受審及び認定</u></p> <p>1- (3) 就職希望者就職率(学部) 100%</p> <p>1- (4) 国家試験合格率 看護師 100%、保健師 100%、 管理栄養士 100%、社会福祉士 75%、精神保健福祉士 100%、 理学療法士 100%、作業療法士 100%</p> </div> <p>【2】保健・医療・福祉分野における質の高い専門人材の育成（保健福祉学研究科）</p> <p>～（中略）～</p> <p>さらに、より高度で質の高いリーダーとなる人材を養成するため、<u>助産実践コースの設置、保健実践コース（仮称）及び慢性疾患看護専門看護師（CNS）コース（仮称）の設置に向けた検討、養護教諭・栄養教諭の専修免許取得のためのカリキュラム改正を行うと</u>ともに、子ども家庭福祉など社会的要請の高い人材の育成について学部教育と連動させた検討を行う。</p> <p>～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 1417 2318 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>2- (1) <u>助産実践コースの設置、保健実践コース（仮称）及び慢性疾患看護専門看護師（CNS）コース（仮称）の設置に向けた検討、養護教諭・栄養教諭の専修免許取得のためのカリキュラム改正</u></p> <p>2- (2) <u>（追加）</u></p> <p>2- (2) 大学院修了時調査でリーダー資質が向上したとの評価 80%</p> <p>2- (3) 子ども家庭福祉に係る人材育成の検討</p> </div>	<p>1- (1) 評価指標の調査手法の具体的記述</p> <p>1- (2) 評価指標を評価機関別に修正</p> <p>【2】助産実践コースは令和6年4月開設のため削除 文言の修正</p> <p>2- (1) 助産実践コースは令和6年4月開設のため削除 文言の修正 評価指標の具体化</p> <p>2- (2) 評価指標の追加</p>

第二期中期計画（案）	第二期中期計画（素案）	修正理由
<p>【3】新たな価値を創造するイノベーション人材の育成 （ヘルスイノベーション研究科） ～（中略）～</p> <div data-bbox="166 365 1210 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 3-（1） 公衆衛生学を基盤にイノベーションマインドを醸成する科目について、<u>中間評価までに科目の新設及びカリキュラムの改編を実施し、充実・強化を図る</u> 2-（2） 大学院修了時調査でリーダー資質が向上したとの評価 80%（再掲）</p> </div> <p>【4】専門人材のさらなる能力高度化とリスクリングを支えるフィールドの構築（横浜キャンパス） ～（中略）～ さらに、人生100年時代が進展する中で、保健・医療・福祉人材の実践力をさらに強化するゲートウェイとしての役割を総合的に果たすため、大学全体の総合的取組みとして横浜キャンパスの<u>さらなる活用について検討する。</u></p> <div data-bbox="166 821 1210 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 4-（1） 時代の要請に適合した課程や研修の実施 4-（2） 学びの成果を評価する仕組みづくりを<u>検討し、令和7年度より運用</u> 4-（3） 横浜キャンパスの<u>さらなる活用について検討</u></p> </div> <p>（2） 教育内容等 【5】「学修者目線」への転換による学修者本位の教育の推進 ～（中略）～</p> <div data-bbox="166 1192 1210 1436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 1-（1） <u>卒業時の学生満足度調査で、大学教育を通じてDPに定める資質・能力を身に着けることができた</u>との評価 80%（再掲） 5-（1） 授業評価で5段階中4以上の評価 80% 5-（2） 学修成果の可視化について、<u>学部において既存データのリスト化や共有を図り、令和8年度のポートフォリオの導入を目指す</u></p> </div> <p>（3） 教育の実施体制の整備 【6】ひとの力を高める教育基盤づくり ～（中略）～</p> <div data-bbox="166 1633 1210 1835" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 6-（1） FD 研修実施回数 72回 6-（2） 教学 IR を推進するため、<u>令和8年度を目指して情報の収集・分析を行う体制を整備</u> 6-（3） 学生満足度調査で大学施設が良好との評価 80%</p> </div>	<p>【3】新たな価値を創造するイノベーション人材の育成 （ヘルスイノベーション研究科） ～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 365 2323 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 3-（1） 公衆衛生学を基盤にイノベーションマインドを醸成する科目の充実・強化 2-（2） 大学院修了時調査でリーダー資質が向上したとの評価 80%（再掲）</p> </div> <p>【4】専門人材のさらなる能力高度化とリスクリングを支えるフィールドの構築（横浜キャンパス） ～（中略）～ さらに、人生100年時代が進展する中で、保健・医療・福祉人材の実践力をさらに強化するゲートウェイとしての役割を総合的に果たすため、大学全体の総合的取組みとして横浜キャンパスの<u>再整備を検討する。</u></p> <div data-bbox="1279 821 2323 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 4-（1） 時代の要請に適合した課程や研修の実施 4-（2） 学びの成果を評価する仕組みづくり 4-（3） 横浜キャンパスの<u>再整備の検討</u></p> </div> <p>（2） 教育内容等 【5】 「学修者目線」への転換による学修者本位の教育の推進 ～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 1192 2323 1436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 1-（1） 学生満足度調査で<u>カリキュラムが良好</u>との評価 80%（再掲） 5-（1） 授業評価で5段階中4以上の評価 80% 5-（2） 学修成果の可視化</p> </div> <p>（3） 教育の実施体制の整備 【6】 ひとの力を高める教育基盤づくり ～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 1633 2323 1835" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 6-（1） FD 研修実施回数 72回 6-（2） 教学 IR の推進 6-（3） 学生満足度で大学施設が良好との評価 80%</p> </div>	<p>3-（1） 評価指標の具体化</p> <p>【4】 文言の修正</p> <p>4-（2） 評価指標の具体化 4-（3） 文言の修正</p> <p>1-（1） 評価指標の調査手法の具体的記述（再掲） 5-（2） 評価指標の具体化</p> <p>6-（2） 評価指標の具体化 6-（3） 字句修正</p>

第二期中期計画（案）	第二期中期計画（素案）	修正理由
<p>(4) 学生の受入れ 【7】意欲ある学生の確保 ～（中略）～ なお、県の保健・医療・福祉に関わる専門人材を育成する本学の役割を果たすため、<u>教育費負担の軽減について検討</u>を行う。</p> <div data-bbox="166 411 1210 646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 7- (1) アドミッションセンターの機能強化及び計画的・戦略的な運営 7- (2) 本学受験動機として、「教育内容・教育理念」を選択した学生の割合 70% 7- (3) <u>県の保健・医療・福祉に関わる専門人材を育成する本学の役割を果たすため、教育費負担の軽減について検討</u> 7- (4) 大学 Web サイトへのアクセス数 第一期実績の5%増</p> </div> <p>2 学生への支援に関する目標を達成するためとるべき措置 【8】充実した学生生活に向けた支援 ～（中略）～ また、<u>学内外の活動における学生交流ならびに地域住民との交流を支援するとともに、</u>学生による地域貢献活動や SDGs に沿った取組みについて成果報告や表彰など成果の発信に努める。</p> <div data-bbox="166 957 1210 1192" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 8- (1) <u>現状の支援体制の評価を行い、学生のニーズに応じた支援体制を具体的に検討</u> 8- (2) 学生満足度調査で相談・助言・支援が良好との評価 80% 8- (3) <u>学生満足度調査で課外活動を含む学生生活の満足度について良好との評価 80%</u></p> </div> <p>【9】社会への適応力を育て、新たな活躍分野を拓くキャリア支援 ～（中略）～</p> <div data-bbox="166 1335 1210 1591" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 1- (3) 就職希望者就職率(学部)100%（再掲） 9- (1) 県内就職率(学部) 第一期実績の5%増 9- (2) <u>アントレプレナーシップ推進体制を整備し、中間評価までにスタートアップ支援体制を具体化</u> 9- (3) <u>令和7年度を目指してヒューマンサービスセンターにおける卒業生と大学の相互交流機能の充実強化を図る</u></p> </div> <p>～（中略）～</p> <p>【12】県・市町村の課題解決につながる研究の推進 ～（中略）～ 特に、<u>県の感染症等に対する対応力の強化に資するための研究活動に取り組むとともに、当事者目線を尊重した介護・障がい福祉・子ども施策等</u>にかかる実践的な研究を推進する。 ～（中略）～</p>	<p>(4) 学生の受入れ 【7】意欲ある学生の確保 ～（中略）～ なお、<u>入学金等については、教育費負担の軽減や、</u>県の保健・医療・福祉に関わる専門人材を育成する本学の役割を果たすため<u>見直し</u>を行う。</p> <div data-bbox="1279 411 2323 646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 7- (1) アドミッションセンターの機能強化及び計画的・戦略的な運営 7- (2) 本学受験動機として、「教育内容・教育理念」を選択した学生の割合 70% 7- (3) <u>入学金等の見直し</u>  7- (4) 大学 Web サイトへのアクセス数 第一期実績の5%増</p> </div> <p>2 学生への支援に関する目標を達成するためとるべき措置 【8】充実した学生生活に向けた支援 ～（中略）～ また、学生による地域貢献活動や SDGs に沿った取組みについて<u>積極的に支援するとともに、</u>成果報告や表彰など成果の発信に努める。</p> <div data-bbox="1279 957 2323 1192" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 8- (1) <u>教職員による</u>学生支援体制の充実  8- (2) 学生満足度調査で相談・助言・支援が良好との評価 80% 8- (3) <u>(追加)</u></p> </div> <p>【9】社会への適応力を育て、新たな活躍分野を拓くキャリア支援 ～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 1335 2323 1591" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b> 1- (3) 就職希望者就職率(学部)100%（再掲） 9- (1) 県内就職率(学部) 第一期実績の5%増 9- (2) <u>アントレプレナーシップ推進体制の整備</u>  9- (3) ヒューマンサービスセンターにおける<u>パーチ機能</u>の充実強化</p> </div> <p>～（中略）～</p> <p>【12】県・市町村の課題解決につながる研究の推進 ～（中略）～ 特に、感染症等に対する<u>県の</u>対応力の強化に資するための研究活動に取り組むとともに、<u>県の介護・福祉施策</u>にかかる実践的な研究を推進する。 ～（中略）～</p>	<p>【7】文言の修正</p> <p>7- (3) 文言の修正</p> <p>【8】支援内容の具体化</p> <p>8- (1) 評価指標の具体化</p> <p>8- (3) 本文修正に伴う評価指標の追加</p> <p>9- (2) 評価指標の具体化</p> <p>9- (3) 評価指標の具体化</p> <p>【12】文言の追加・修正</p>

第二期中期計画（案）	第二期中期計画（素案）	修正理由
<p>4 社会貢献に関する目標を達成するためとるべき措置  (1)地域貢献  【13】地域における「知と人材の拠点」としての価値創造  地域社会に質の高い専門人材を送り出すとともに、公開講座やシンポジウム、専門職を対象とした講座、学内実習ステーション_____など大学の教育研究資源を活用した地域貢献を行い、ヒューマンサービスの実現に努める。  ～（中略）～</p> <div data-bbox="172 514 1210 676" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  13- (1) 学内実習ステーションの<b>効率的・効果的な</b>運営  13- (2) 公開講座・知の発信 150回(計画期間累計)  13- (3) 中・高校生に対する講座等の開催 100回(計画期間累計)</p> </div> <p>～（中略）～</p> <p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  1 運営体制の改善に関する目標を達成するためとるべき措置  【16】社会の変化に的確に対応できるガバナンス力の強化  ～（中略）～</p> <div data-bbox="172 940 1210 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  16- (1) 組織体制の検討と戦略的な資源配分  16- (2) 外部委員の継続的な登用</p> </div> <p>2 人事の適正化に関する目標を達成するためとるべき措置  【17】柔軟で弾力的な人事制度と適切な人材活用  ～（中略）～</p> <div data-bbox="172 1264 1210 1423" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  17- (1) 柔軟かつ弾力的な人事制度の運用  17- (2) <u>中間評価までに、より客観的な教員人事評価のあり方を検討し、システム化が可能な部分のシステム設計等を開始</u></p> </div> <p>【18】事務の効率化と職員の能力向上  ～（中略）～</p> <div data-bbox="172 1558 1210 1822" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  18- (1) 業務改善のためのデジタル化に向けた方針を中間評価までに決定し、<u>計画期間中に本格稼働</u>  18- (2) <u>令和6年度中に事務等の効率化・合理化達成度調査を検討し、継続的に調査を実施</u>  18- (3) <u>望ましい教職員像のあり方及び「人材育成ビジョン」を中間評価までに策定し、計画間中に、「人材育成ビジョン」に基づく研修計画を策定</u></p> </div> <p>～（中略）～</p>	<p>4 社会貢献に関する目標を達成するためとるべき措置  (1)地域貢献  【13】地域における「知と人材の拠点」としての価値創造  地域社会に質の高い専門人材を送り出すとともに、公開講座やシンポジウム、専門職を対象とした講座、学内実習ステーション<b>の設置</b>など大学の教育研究資源を活用した地域貢献を行い、ヒューマンサービスの実現に努める。  ～（中略）～</p> <div data-bbox="1285 514 2323 676" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  13- (1) 学内実習ステーションの<b>設置・運営</b>  13- (2) 公開講座・知の発信 150回(計画期間累計)  13- (3) 中・高校生に対する講座等の開催 100回(計画期間累計)</p> </div> <p>～（中略）～</p> <p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  1 運営体制の改善に関する目標を達成するためとるべき措置  【16】社会の変化に的確に対応できるガバナンス力の強化  ～（中略）～</p> <div data-bbox="1285 940 2323 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  16- (1) 組織体制の検討と戦略的な資源配分  16- (1) 外部委員の継続的な登用</p> </div> <p>2 人事の適正化に関する目標を達成するためとるべき措置  【17】柔軟で弾力的な人事制度と適切な人材活用  ～（中略）～</p> <div data-bbox="1285 1264 2323 1423" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  17- (1) 柔軟かつ弾力的な人事制度の運用  17- (2) 教員人事評価<b>制度</b>の検討</p> </div> <p>【18】事務の効率化と職員の能力向上  ～（中略）～</p> <div data-bbox="1285 1558 2323 1822" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b>  18- (1) 業務改善のためのデジタル化の<b>推進</b>  18- (2) 事務等の効率化・合理化達成度<b>検査</b>の実施  18- (3) <b>事務</b>職員の研修<b>制度</b>の整備</p> </div> <p>～（中略）～</p>	<p>【13】令和5年度設置のため削除</p> <p>13- (1) 令和5年度設置のため文言修正</p> <p>16- (2) 字句修正</p> <p>17- (2) 評価指標の具体化</p> <p>18- (1) 評価指標の具体化  18- (2) 評価指標の具体化  18- (3) 評価指標の具体化</p>

第二期中期計画（案）	第二期中期計画（素案）	修正理由
<p>第 11 自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>【21】適切な点検・評価と大学運営の透明性の確保 ～（中略）～</p> <div data-bbox="172 415 1210 604" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>21-（1）自己点検・自己評価の定期的な実施及び自己点検・自己評価結果に基づく課題等への継続的な対応</p> <p>21-（2）令和 11 年度<u>までに</u>大学機関別認証評価を受審し、<u>認証を受ける</u></p> </div> <p>別添 1 ヒューマンサービスについて ～（中略）～ <b>【ヒューマンサービス】の解釈 2023</b></p> <div data-bbox="172 898 1210 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ヒューマンサービス」の基本は「人を大切にすること」です。 保健・医療・福祉の分野において、専門職は、対象となる「その人」から表出されるわずかなサインも見逃さず、各々の専門的視点から「その人」を全体的に理解しようと努めます。 専門職は、職業的アイデンティティに基づきつつ、他の専門職の専門性を理解することで、専門の枠を越えて専門職同士でつながります。 専門職同士が連携をしながら、あくまでも対象となる「その人」目線で、「その人」の強みを生かし、「その人」のために独自のサービスを創出し、「その人」らしく生きられるように調整を図ります。 「ヒューマンサービス」は、皆が多様性を認め合い、誰も排除されることなく、人々がつながりあって居心地の良い社会を作り、人類すべての幸福を追求していくことにより、新しい文化を生み出そうとするパラダイム（考え方）です。</p> </div> <div data-bbox="172 1375 1210 1528" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>（簡潔な解釈）</b> 「ヒューマンサービス」は、対象となる「その人」が「その人」らしく生きられるように、専門職同士が連携して、誰もが大切にされる社会をめざし、人々とともに幸福を追求していこうとする考え方です。</p> </div> <p><b>（補足）</b> 神奈川県立保健福祉大学には、「ヒューマンサービス」のミッションのもと、『少しおせっかいなくらい人に寄り添う』という校風があります。 保健・医療・福祉にかかる専門資格の取得を目指す人材の養成に加え、保健・医療・福祉にイノベーションを起こす人材を養成しています。また、保健・医療・福祉の専門職が継続して学び続けられる環境も提供しています。 多種多様な専門職や専門職を目指す学生が相互に刺激し合い、時代を先取りして、専門職としてのコンピテンシー（専門的必須能力）を高めています。</p>	<p>第 11 自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>【21】適切な点検・評価と大学運営の透明性の確保 ～（中略）～</p> <div data-bbox="1279 415 2318 604" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価指標</b></p> <p>21-（1）自己点検・自己評価の定期的な実施及び自己点検・自己評価結果に基づく課題等への継続的な対応</p> <p>21-（2）大学機関別認証評価：「認定」/令和 11 年度<u>受審予定</u></p> </div> <p>別添 1 ヒューマンサービスについて ～（中略）～ <b>ヒューマンサービスの実践（調整中）</b></p> <p>本大学は、ヒューマンサービスの理念に基づき、質の高い保健・医療・福祉の人材養成と現任者への教育の充実を目標にしている。ヒューマンサービスとは、どのような人間であれ、誰も排除されることなく、一人ひとりが人格を持った大切な人として生かされ、生きがいを持ち、その人らしく生きられるように、人が、人らしく、他の人を支援していく理念をいう。 ヒューマンサービスの実践には、それぞれの専門領域が最大限の力を発揮すると同時に、お互いの壁を低くして保健・医療・福祉の連携と総合化をはかることが大切であり、そのためには、人間としての高い倫理観、多様性を認め合える寛容の精神、人権意識を根底に持ち、深い洞察力と人の痛みや悲しみが受け止められる鋭い感性を備えた人材の育成が必要になる。</p>	<p>21-（2）字句の修正</p> <p>【ヒューマンサービス】 解釈等の追加</p>